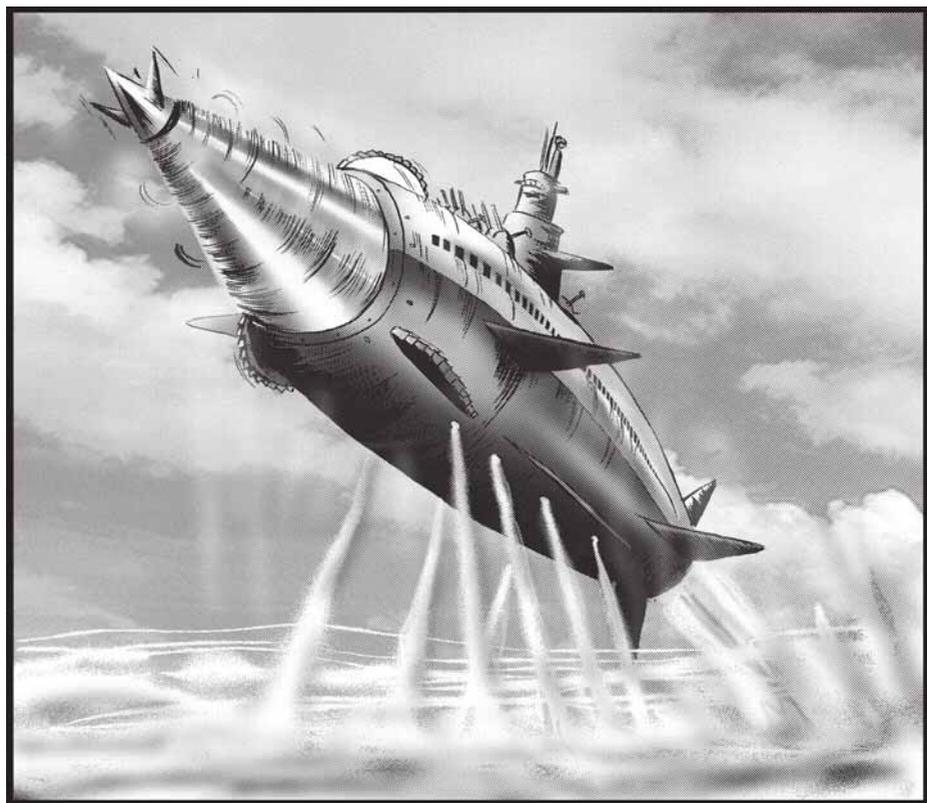


本当に恐ろしかった さぬきうどん5.5

2006年山越GW行列レポート本



K・I・D四国空母化計画推進委員会

本当に恐ろしかった さぬきうどん5.5

2006年山越GW行列レポート本



もくじ

- 5 事の起こり
- 6 山越とその周辺
- 8 前日
- 10 行列
- 14 駐車状況
- 16 傾向と対策
- 17 予告漫画（再録）
- 18 あとがき

表紙

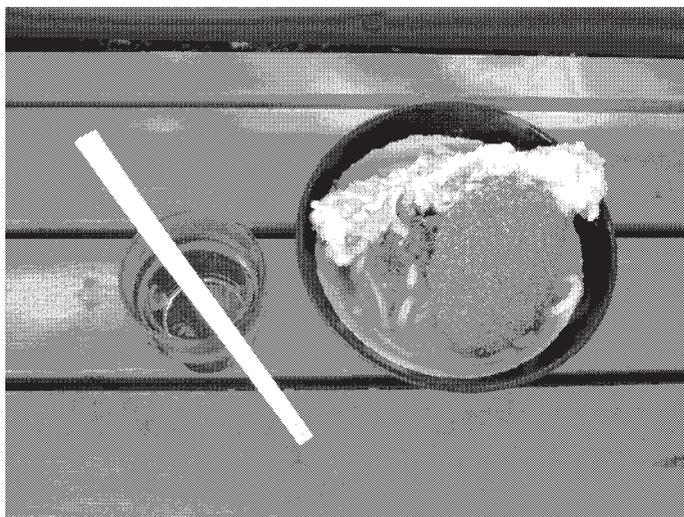
田亜湖様（泥の沼組）

予告漫画

暮下無用

編集、その他

双葉・スズキ

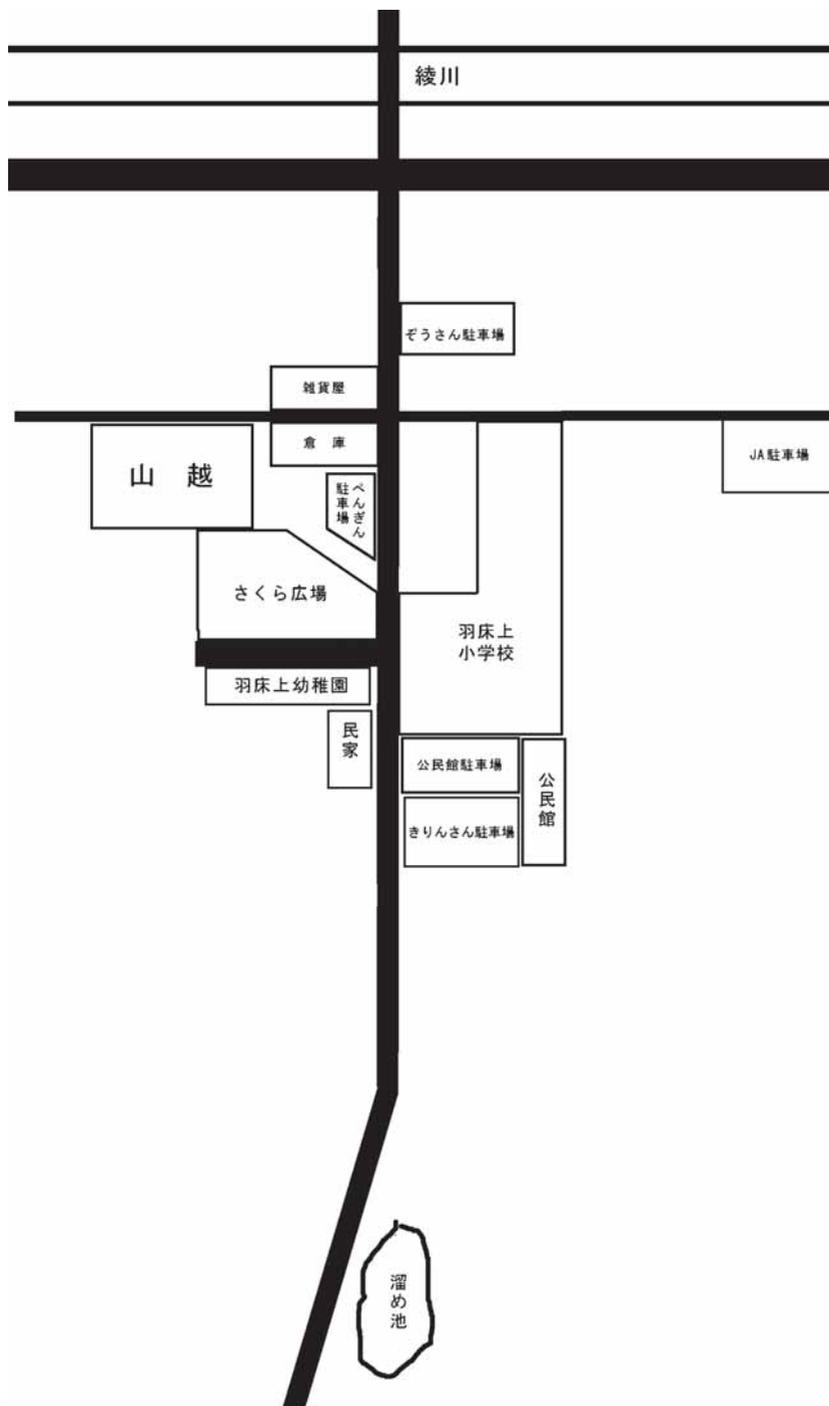


さぬきうどんで本を出すようになって、かれこれ五年近くになる。それだけやっている、思いも寄らない事も起こるようで、どういった縁があったものか麺通団とその関係者の方々にも当方の本が読まれてしまったのである。何かと拙い部分が目立つ本なので、どのような感想をいただいたのかはあまり想像したくはないのだが、伝え聞いた話によると「山越行列レポートみたいなのはこちらでもやってみたかった」との感想をいただけたようなのである。思いつきでやってみたが、それなりに甲斐があったのである。

そして昨年五月、何かと参考にさせていただいているサイト「さぬきうどん食べ、歩き」さんにて、GWの状況がまとめられていた。なるほど、山越は2時間半待ちか。ふむ、なるほど、9月にやった2.5の時とは全く比べものにならない。しかも行列客目当てにアイス屋がやってきたとも言う。ならもう一度やってみる甲斐はあるかも知れん。それに、5の次に番外のコピー誌を出すとするれば5.5。五月五日のレポートならびったりじゃないか。そう思ったのである。

というわけで今回も思いつきでやってみる事になったのである。ひなたぼっこをしながらの前回とは苦勞が比べものにならないさそうだけど、まあ、その辺は気にしない方向で。

山越とその周辺



2.5の時と同じく、山越の周辺図を起こしてみた。もちろん、縮尺はいい加減なもので、大体こんな感じ、という事をわかっていたら幸いである。

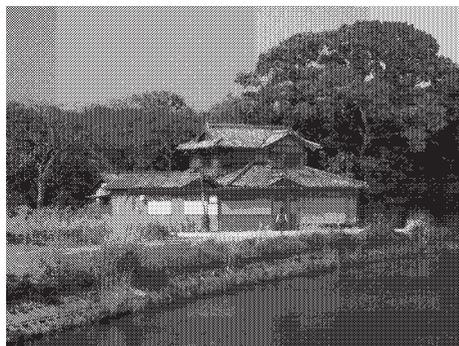
さて、山越そのものがどんな店かは本誌でも何回か取り上げたこともあり、そう説明する事はないと思う。その上で知らないという方に説明するとさぬきうどんの定番メニューとなった釜玉の発祥の地であり、またそこでわき出る水で締められた麺のうまさで評判の行列店、といったところか。あと付け加えるなら「どっちの料理ショー」で麺が使われた事ぐらいだろうか。

次に前回の2.5の頃からどう変わったか、について。まず飲食スペースの拡大。台形で面積のわりに収容台数が多くなかった第三駐車場が飲食スペースとおみやげ物売り場を合わせたさくら広場に変えて収容客数を増やした。

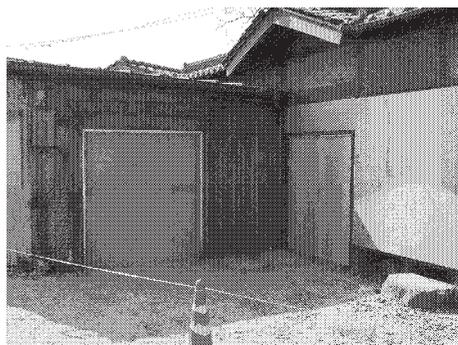
次は駐車スペースの拡大である。公民館前の土地を買い取り、そこを駐車場に変えた。また、第一、第二、新しく加わった駐車場の名前をぺんぎんさん、ぞうさん、きりんさん駐車場と名前を変えた。また、交渉の成果か、公民館の駐車場と羽床上小学校東にあるJAのガレージが臨時の駐車場として使われていた。立地条件もあるが、ほとんどの店が行列、路駐に対する対処が見られていない中で、それを行った山越側を評価するべきだとは思う。

しかし、それらの対処がどうなったかについてはあとの駐車状況の頁で説明したいと思う。左の周辺図の範囲が広がってる事もそちらでわかってもらえるはずである。

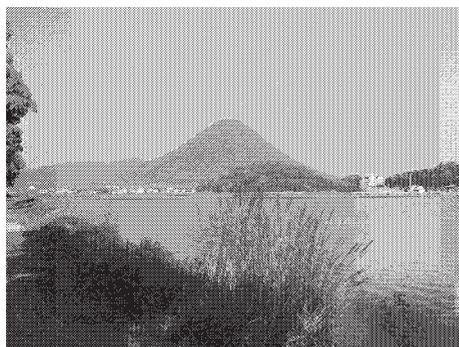
前日



ロケセット遠景



ロケセット入り口側より



ロケセットからさぬき富士を



5月4日、16時頃の山越

取材に先立ち、五月四日の13時に坂出ICを出る。2.5の取材で知った事だが土曜日曜の山越は開店を一時間早め、8時からの開店となるのだ。その上、開店前の状況から調べようと言うのだから前日入りするほか無いのである。そのまま丸亀の某店に入り昼食を兼ねての打ち合わせと再確認。

腹ごしらえを済ませて国道11号線を東に向かう。前日入りしたのにはもう一つ理由があって、四月に行ったうどん本6の取材の際、とあるうどん屋で今年公開される映画「UDON」のロケ地の場所を教えていただいたのだが、見つけきれなかったのである。

というわけで、リベンジである。教えていただいた話だと林のそばのため池に建てたというので、手元の地図と対照しながらそれらしい溜め池と林を探す。そして目的地周辺を一周したところで林の脇の一軒家を発見した。

遠景だと丸亀市街が入ってしまうが、近づいてみるとなるほど、確かにそれっぽい。セットを中心にフレームを組むとバックは林と溜め池のみ、右側にシフトすればさぬき富士が入ったりもするが、「人里を離れ脇道に入ると唐突に現れたうどん屋」が見事に演出されている。ううむ、匠の技。

セットの作りは一軒家に隣接する形でガレージだか農具置き場を増築、そこが使われなくなったのでそこをうどん小屋にした、といった感じ。実在する店で例えるなら、やまうちの立地条件になかむらを建てた、といったところだろうか。もし、仮に何かの運命のいたずらでうどん屋を開業できるとしたら、是非こんなところに建ててみたい。

そろそろ時間は3時過ぎ、宿にチェックインする前に閉店後の状況を先行偵察してみようと山越に向かった。ここからなら到着するのは4時前、いくら人が多いとはいえず、閉店しているはずである。はずだったのだが・・・。

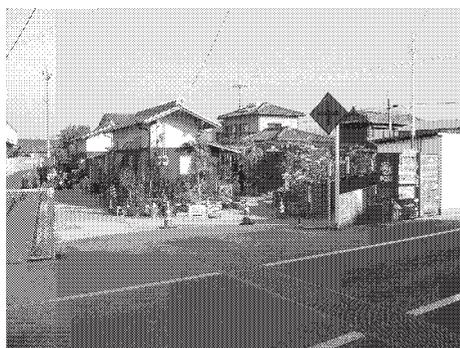
駐車場前で、警備員のおちゃんがそこから出る車を誘導してました。長くはないけれど、20分待ちくらいで行列が残ってました。誰かウソだと行ってくれ。顔なじみになった警備員のおちゃんに話を聞くと、今日の人出はいたい3000人くらい、待ち時間は3時間待ちを超えた、とのこと。さらに付け加えると、今日がピークで、明日はこれの7,8割くらいではないか、という事だった。

その後、高松入りしスーパー銭湯で一風呂浴びてから宿にチェックイン。7時頃に夕食を採りに行く。うどんを食に行く事も考えたのだが、あいにく讃岐屋は閉店してしまったし、五右衛門は行列が出来ていた。もう一軒あてがあったのだが、そこはGW中はお休みだったのである。というわけで、たまたま見つけたグリルで夕食を採った。高松の夕食でうどん以外のものを食べたのは初めての取材旅行以来ではなからうか。

寝る前に手持ちのノートでネット巡回してみる。「さぬきうどん食べ、歩き」さんで気になるニュースが。がもううどん周辺の迷惑駐車が警察へ通報され、その注意で早じまいしたとの事。

明日の山越は大丈夫だろうか。

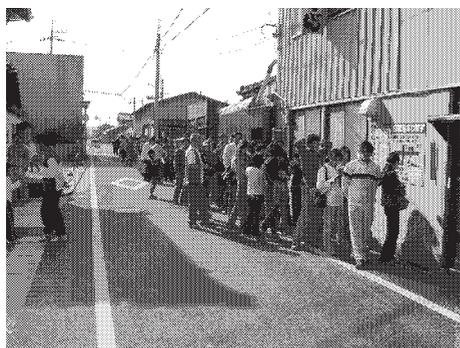
行列



さくら広場、開店前



ぺんぎんさん駐車場、開店前



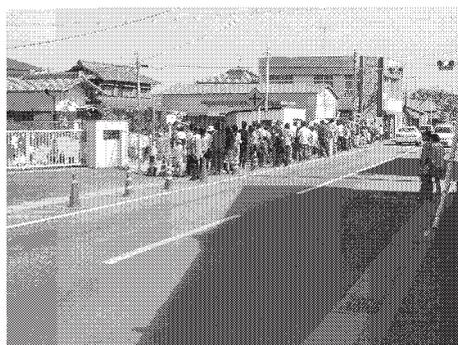
山越入り口、開店前



羽床上小学校前、タマネギ無人販売



列最後尾、8時頃



列最後尾、9時頃

五月五日、天気は晴天。6時過ぎに宿を出て山越に着いたのが7時前。着く直前に「まさか、すでに並んでたりしないだろうな」「そこまでやるのはアンタくらいだ」などと話していたのだが、すでに駐車場には車の影が。二つの駐車場それぞれ合わせて10台ほど。さすがGWというべきか。

この時点で出来ている行列の長さは倉庫の手前まで。まだ開店まで1時間はあるのだぞ。レポートの趣旨として、開店から1時間おきに待ち時間を計る事にしているのでこの時点では行列に加わずに辺りで時間をつぶす事に。途中、気がついたのがそれぞれの駐車場までの間に玉ねぎの無人販売所。これは行列を見込んで付近の農家の人が置いたのだろう、カゴの横に海苔の空瓶が置かれ、そこに100円を入れるようになっていた。聞いた話によると去年は行列目当てにアイスクリーム屋が出たと言うが、今年も来るのだろうか？

さくら広場の方に向かうと、すでに天ぷら小屋のおみやげ売り場が開いており、生うどんの宅急便手続きを受け付けていた。おみやげうどんはまだ販売していなかったと思う。いや、していたのかも知れないがこの辺り、記憶があやふやである。ちゃんとメモしておけばよかった。

7時半頃、警備員の方々が到着。人数は、4人。いつもの顔見知りのおっちゃんの様が見えない。それぞれの手には水を凍らせた500ccのペットボトル。これから8時間近く立つのだから当然の装備である。それぞれ受け持ちの駐車場に向かい、ぺんぎんさん駐車場を受け持ったおばさんがパイロンを並べて導線を形成する。開店してからでは間に合わないのだろう。

それでもまだ時間があったので、思い切って先頭の人に到着時間を聞いてみた。返ってきた答えは6時40分。という事はこの方、開店まで1時間半も待つというのか。自分たちを棚に上げて言うが、そこまでせねばならんのだろうか。

そして時刻は開店の八時。すでに行列の最後尾は十字路を越えてぺんぎんさん駐車場脇、自動販売機前まで折り返し。朝飯も採っていないので最初は全員並ぼうかと思ったが、この時点で1時間待ちもあり得ると判断し、結局一人ずつ並ぶ事にした。そして8時担当がうどんにありつけたのは8時44分、約45分か。それでも、あとの事を考えると短い。この頃に顔なじみの警備員のおっちゃんが姿を現し、各駐車場へ散った警備員へと指示を出し始める。さすがは古参、指示が的確である。

次の9時は自分の当番、列はすでにぺんぎんさん駐車場を越え、そのまま南に延びて幼稚園入り口前まで伸びていた。このままだと民家の前まで伸びてしまうぞ、と思っていたら山越裏の路地に折り返しの導線を設置、そちらへと誘導された。なるほど、これならまだ余裕がある。五月の始めとはいえ晴天の日差しは強い。帽子を用意していなかったのでタオルを頭に巻く。手元には待ち時間をつぶすための「王様の仕立屋10巻」。周りの人はというと、まっぶるやるるぶといった香川のガイドブック。子供達の手元にはDSが。ゲームボーイから着実に世代交代している模様。後ろに並んだカップルは、ガイドブックを開き、9時に開店のはずなのに、もうこんなに並んでいるのかと驚いていた。ということはこの手のガイドブックでは平日の営業時間しか紹介していないのか。なお、このカップルは20分ほどであきらめて別の店へと移った。開いていたページからすると小縣屋だろう。

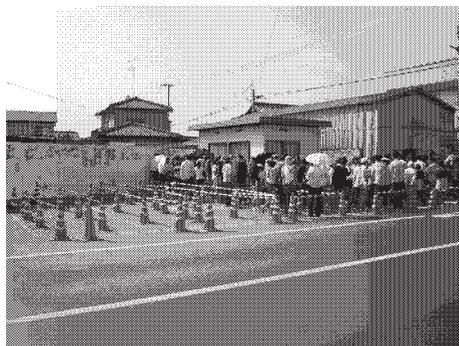
行列



幼稚園前、10時頃パイロン設置中



交差点の信号から、12時半頃



列最後尾、15時頃



列最後尾、11時頃



列最後尾、14時頃



列最後尾、16時頃

10時、1時間が過ぎた。まだぺんぎんさん駐車場から出られていない。現在位置は自販機の手前、ちょうど8時の時の最後尾の位置。という事はあと45分はかかるというわけだ。10時13分、ようやく十字路に立つ。ここまで来ればあとは一直線で待ち時間もわかりやすい。前回と同じく5分おきに5メートルすすむペースで、結局うどんにありつけたのは予想よりちょっとあとの10時47分、延べ1時間と47分待ちである。それでも、まだピークには達していない。

並んでいた11時担当とすれ違いながら挨拶を交わす。行列は山越裏の路地をとうに通り越し、幼稚園入り口前を埋め尽くし、民家の一步手前まで。昨日は最後尾がこの民家を通り越したと言うから、もう時間の問題かも知れない。

そういえば、もう昼前だというのに去年現れたというアイス売りの姿を見ない。そろそろ日差しのピークで、冷たいものの売り頃だろう。いつもの警備員のおっちゃんが前を通りかかったので、その辺を聞いてみると今年は来なかったらしい。たぶん、さほど売れなかったんじゃないかと。確かに、いくら日差しがきついとはいえ、食べ物待つ行列に加わっておいて他の食べ物を食べる気にはならんわな。その一方で玉ねぎはぼちぼち売っていた模様。一度カゴを補充していた。まだ自炊を続けていたならこちらも買うところなんだが。

さて、12時は自分の当番なのだが、事情により並べず。あとの調査を残ったメンバーに任せる事に。そして行列はとうとう民家の前を覆いはじめる。今思うと、この辺りがピークだったかも。12時24分、10時の当番から連絡、待ち時間はついに2時間を突破した。やはり9時を過ぎから来客数が増えているのは間違いないだろう。それを裏付けるかのように道の両脇に路駐の列がではじめた。出て行く車より入ってくる車の方が多いのだ。

13時40分、並んでいた11時担当から連絡。このペースからすると12時に並んでいたら待ち時間は3時間弱は並んでいたんじゃないだろうか。そして体力的にギブアップを申し出るメンバーも出て、行列体験は残ったメンバーに任せる事になった。行列体験の循環は切れてしまうが、ギブアップメンバーによる定点観測でフォロワーを入れる事とする。

14時、とたんに行列が短くなり、山越裏の路地を一列のみに。9時の時より長い程度だろうか。ひっきりなしにやってきた車の量もまばらになった。さすがにガイドブックの閉店時間を過ぎればこうなるのか。しかし、それを過ぎても山越はまだ営業中。麺が続く限り、並んでいるお客さんがいる限り続けるのが山越なのだ。もっとも、10分前にパトカーがやってきた時にはひやりとしたが。結局駐禁の呼びかけだけで去っていった。

15時、行列最後尾がぺんぎんさん駐車場の半分を下回る。駐車場にも空きが見え始め、路駐も虫食い状態に。

15時42分、13時担当から食えたと連絡。よくやってくれた、ありがとう。やはり、12時時がピークだったのだろう。しかし、まだ行列は残っているんだけれど。

16時15分頃、看板が閉店に変わり、16時30分、列が無くなって完全に閉店！しかし、ここで店に入っていく人がいる。誰だろう、今まで誘導していた警備員のおっちゃん達である。閉店から8時間半。ようやくの食事なのである。初めて警備員についた兄ちゃんにうどんの食べ方を教える姿が微笑ましかった。

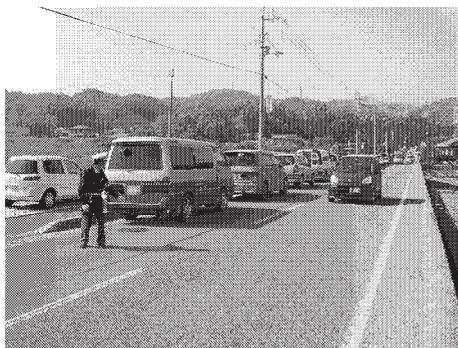
駐車状況



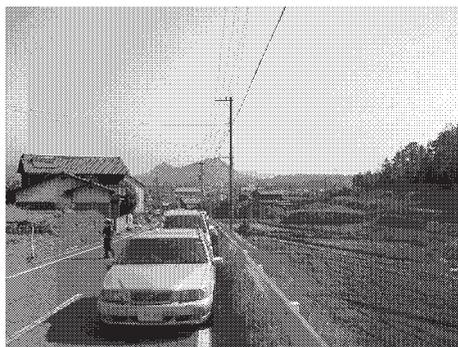
きりんさん駐車場、開店前



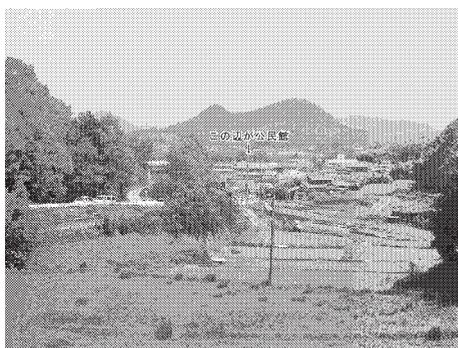
J A 駐車場、13時半頃



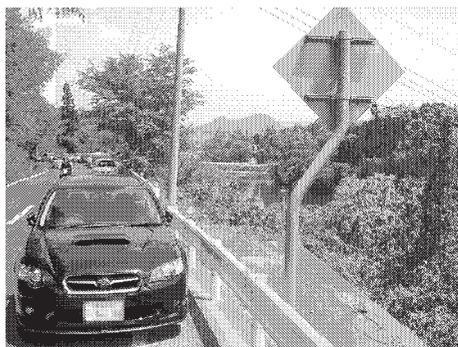
11時頃、路駐のはじまりを



11時頃、路駐列の中間あたり



11時頃、溜め池前の路地から。
かろうじて公民館が見える。



11時頃、路駐列先頭から。
もはや、どこに店があるのかもサッパリである。

行楽シーズン時での行列店と呼ばれるうどん屋に置いて何が問題かと言えば、路駐である。前日の頁でも書いたが、今年はがもうが迷惑駐車が原因で臨時休店を余儀なくされてしまった。よう相手しきれん、とGWの営業を取りやめて9連休に突入した店もある。

さて、山越である。9月の三連休に行った前回の密着取材では路駐の列が100台近く並んでいた。GWともなればこれを遙かに超える事は簡単に想像できる。もちろん、山越側としてもこの問題に対処はしていた。先に書いたとおり、収容出来る人数と車の台数を拡大していたのである。しかしながら、需要に対して供給が追いついていないのが現状である。ぶっちゃけ言うと、焼け石に水、だ。

開店前から警備員達によってそれぞれの駐車場に誘導されてはいたのだが、8時半頃にほぼ満車。そして9時頃から入ってくる車が増え始めるのだが、そのころはまだ開店直後に並んだ組が食い終わる頃で、駐車場から出て行く車は少ない。よって駐車場には入れない車は路駐するしかないのだが、この路駐の列がまず南の峠へと伸びていく。11時、行列から戻った後その先頭を確認するために走った。走りながら車のナンバーからすると最遠方地は西は鹿児島、東は新潟といったところか。さすがに北陸、関東を越えるナンバーはいなかった。また、今回はその台数を数えながら行ったが、今回はその気すら起こらなかった。長さだけなら軽く前回を超えている。

峠を登る最中、その入り口が曲がり道になっているので、登りと下りの車が行き違いを起こすと、路駐の列がじゃまになって流れが止まる。警備員は登ってくる車に駐車位置を指示するのが手一杯で、行き違いの誘導までは手が回らない。クラクションにいらだったのか、山裾の家から住人の怒鳴り声も聞こえてきた。

結局、路駐の先頭は峠を超え、溜め池まで続いたのである。平和な釣り人たちが羨ましい。店からの正確な距離はわからないが、後で地図で見比べてみると1キロは確実に超えていたと思う。写真を撮り終え、店へ戻ろうと駆けだしたとき、たまたま通りかかった地元の人が車に乗せてくれた。いかにも当然、といった感じで、こういうのはいつもの事になっているのだろうか？

12時頃、用事があったのか、近所の住人とおぼしき人が路駐の列の反対側に駐車した。するとそれが引き金となってその後ろに続々と列が出来る。二車線道路なので、完全に交通が詰まっていないのは幸いと言うべきなのだろうか？また、それと前後して、店の北側にも路駐の列が発生する。こちらは短く、橋の手前までで止まった。その先の住宅地には届いていない。

ガイドブックの営業時間が過ぎた14時から来店する車の台数がようやく減ってくる。それでも15:30頃までやってきたのだから、流石というか、なんというか。

こんな状況が周辺にとって問題になっていないはずが無い。14時前にパトカーが来た。たぶん、周辺住民からの通報があったのだろう。また、峠を受け持っていた警備員が駐車場まで戻ってきた事もあった。その時の警備員同士の会話を横耳で聞くと、怒鳴られたのでほとぼりが冷めるまで戻っておくとの事、どうもここ数日で毎度の事になっているように思える。

閉店後、警備員の方に話を伺ったのだが、「苦情の矢面に立つのも仕事のうち」と言われたのが印象に残る。

傾向と対策

いろんなものを棚に置いて言うが、正直GWに山越へ出向く事はお勧めできない。可能なら、一週間ずらすべきなのだろう。路駐の列で見たような遠方の方々にはGWの様な大型連休でもない限り香川に来る事は無理な話というもの。それならば、せめて素人なりにお勧めのプランを提示してみるべきだろう。

まずは交通手段。山越周辺の公共交通機関には町営バスと琴電があるのだが、町営バスは日曜祝日は運休で、最寄りの琴電の駅まで徒歩40分、しかも行き帰り共に坂道付きである。実際歩いてみたが、けっこうしんどい。それに、香川に来た以上は山越一軒では済まないだろうから、ここは素直に車を使うしかないだろう。出来れば路駐の列を減らしたいので車以外の手段を挙げたいのだが、滝宮駅から臨時のシャトルバスでもあればなあ。

次は来店時間。列に並んだ時間とうどんを食べられた時間を一覧に挙げてみる。今回はこちら側の事情により、2.5の様な正確なデータをとる事が出来なかった。しかし、閉店まで列最後尾の定点観測を行っており、また列の進行ペースからおおむねの待ち時間を推測する事は可能だろう。推測した時間は末尾に?を付けた。

並び始め	並び終わり	待ち時間
6:40	8:00	1:20
8:00	8:44	0:44
9:00	10:47	1:47
10:00	12:24	2:24
11:00	13:40	2:40
12:00	15:00?	3:00?
13:00	15:42	2:42
14:00	16:00?	2:00?
15:00	16:10?	1:10?
16:00	16:23	0:23

本文では省いたが、実は16時にも並んでいたのである。また、最初の6時40分は行列先頭の方の証言によるもの。

最長は12時の推定3時間、最短は16時の23分。その差、2時間半。しかも山越には作り置きがまず存在し得ないのだから16時に来るのが最善であるかのように思える。しかし、さすがに表向きの閉店時間から2時間以上経過した時間に来ても必ず食えるという保証はない。実際、前日の16時過ぎに偵察に来た時、駐車場入り口で警備員が腕をバツェンにされた。仮に食えるとしてもトッピングの天ぷらなどは種類が限られたものになるだろう。正直、ねらってこの時間に来るのはダメ元のバクチ打ちかと。確実に食えて、待ち時間を抑えるのなら開店直後の8時から8時半までの間を狙いたい。おそらく待ち時間は1時間程度。それ以降では右肩上がりに待ち時間が長くなるし、それ以前では周辺住民への迷惑にもなる。

以上の事をふまえて、GWの際のこちらのおすすめを箇条書きにすると

- ・前日に高松、もしくは丸亀入りし、7時半頃出発、8時到着を目指す。
- ・9時以降の場合、2時間以上の待ち時間が予想されるため、予備策を検討の事
- ・土曜日はお代わりの分をまとめ買いできるので、お土産班と別れて役割分担を。といったところだろうか。貴方にとって何かのお役に立てれば幸いである。



「何かの参考になれば良いのだが。」なんてな事で締めてはみたけれど、その上で言いたいのは「やっぱ、もう一週間ずれせられね？」だったりします。行列なんざ、好きこのんで並ぶものじゃありません。

どうも、このあたりから文調変えました、K・I・Dの双葉・スズキです。と言うわけで、またやってみました。大型連休の山越のおはようからお休みまで、レポートしてみました。かなり、えらい事になっています。

ああ、でも、まるでずっとその場にいたかのように書いていますが、実を言うと、途中で抜け出しています。具体的に言うと五日の昼頃に。どうしてもはずせない急用が入ってしまったので最後までつきあう事が出来なかったのです。閉店まで残ってくれた協力者の方々には本当に申し訳なくて。メモを見ると「15:20 もうひといき！ でもまだきてるよ・・・」「15:30 もうこないかな っていうかもうくるな」と書いてあり、最終的には「16:17 しぬ!!」となっています。いや、ホソマにスマなんだ。

そんなわけで、予定していた時間の待ち時間を全て実測しきれず、一部推測に頼ってしまったりするのは不本意なところがあるので、レポーターとしては不満足な点があるのですが、個人としては「もうやりたくねえ！」です。自分だけでなく、うどん部員たちも30を超えはじめ、体力的にも立場的にもなかなか無理が利かなくなってきましたから。その上でもう一度やれ、もしくはやってくれ、と言われたら今のようなゲリラ取材を変える必要がありますね。例えば行列客にアンケートを採ってみるとか。でも同人サークルじゃ信用なさそうだし、難しいかなあ。

と言うわけで、今回はこんなところでしょうか。取材に協力してくれたみんな、そしてどうしようもない思いつきのネタで表紙を飾っていただいた田亜湖様に感謝を。そして取材のきっかけを下さった「さぬきうどん食べ、歩き」のON-SENさんと麵通団の皆様、そしてこの本を取って下さった皆様にお礼を申して終わりとさせていただきます。

ありがとうございました。

2006年6月11日
双葉・スズキ

本当に恐ろしかったさぬきうどん 5 . 5

発行元

K・I・D

印刷

双葉・スズキ個人所有レーザープリンタ

発行日

2006/06/11

連絡先

e-mail:kidinf@www112.sakura.ne.jp

<http://www112.sakura.ne.jp/~kidinf/>

今回の本の発行に際して以下の文献、
HPサイトを参考にさせていただきました。

さぬきうどん全店制覇攻略本 2 0 0 5 年度版
株式会社ホットカプセル

齋通団公式ウェブサイト

<http://www.mentsu-dan.com/index.html>

さぬきうどん食べ、歩き

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand/4291/udon.html>

なお、この本の内容は予告無しで変更される事があります。
その旨、御了承下さい。

